

平成28年度 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会 会議録

1 日 時 平成29年3月2日（木） 午後1時30分から午後3時まで

2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 2階「蓬莱」

3 出席者

【委員】坂口委員，田中委員，西崎委員，植田委員，麻植委員代理（矢野委員の代理），
（欠席：上家委員，林委員）

【県】農山漁村振興課長，環境・協働担当2名

4 懇話会次第

1)あいさつ

2)自己紹介

3)協議内容

①ふるさと水と土保全対策及び棚田地域等保全対策の概要について

②平成28年度の事業経過について

③平成29年度の事業計画について

④ふる水基金等事業実施計画（平成29年～31年）について

⑤意見交換

⑥その他

5 会議録(事務局説明の後，坂口委員の進行による意見交換の内容を記録)

委員：基金の利息等を活用して，さまざまな事業を実施していると思います。

県：基金の利息や原資を活用し，とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業をはじめ，グリーンツーリズム，鳥獣被害対策等，中山間地域の活性化に向けたさまざまな事業を実施しております。

委員：この基金を活用した事業について，受益者はどのような評価をしていますか。特に使い勝手について教えていただきたい。

県：例えば，県が任命する地域のリーダー「ふるさと水と土指導員」の活動を支援する「ふるさと水と土活動支援事業」については，受益者から使いやすいという評価を得ています。また，受益者が活動内容を紹介する「ふるさと水と土指導員研修会」を実施し，互いの活動内容の情報交換を行っていただいております。

委員：大学との連携については、どのような取り組みを行っていますか。

県：今年度では、「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」について、徳島大学、四国大学の学生に、地域住民との協働活動に参加いただきました。来年度では、新規事業「あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業」にて、農山漁村地域3地区と大学が直接連携し、事業を実施する予定です。

委員：中山間地域の生活はとても厳しい。棚田の管理は大変で、トラクター、コンバインが入らない所が多い。都市との交流もいいが、定住につなげていくことは、非常に難しいのが現実です。

委員：私の住んでいる地区は平坦部ですが、行政が考えているより農村は活力が低下していると思います。私の住んでいる地区では地域で知恵を出し、国事業を活用し、田の水番をする人に他の農作業管理を任せることでお金を支払う仕組みを考えています。

委員：他県では棚田を中心とした映画を撮って、全国に貸し出しをしている事例があります。基金を使ってそういう事業はできませんか。

県：「あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業」のメニューの一つとして、少額ですが対応できる事業があります。

委員：フォトコンテストの作品について、徳島阿波おどり空港のロビーに展示しているが、徳島に到着した人にもっと見てもらえるよう、配慮できませんか。

県：展示スペースは指定されているが、空港ビルと相談し、検討いたします。また、今年で10回目になるフォトコンテストは、最近は素晴らしい写真が集まってきており、審査に困るときがあります。

委員：「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」は県外企業にPRしていますか。フォトコンテストも県外に応募を求めたことがありますか。

県：フォトコンテストは空港に募集チラシを置いており、HPでも公表しております。今年度、2～3人は県外から応募がありました。応援し隊の協働パートナーは県外の企業等もありますが、距離の問題からどうしても県内に集中しています。県外へのPRは今後検討していきたいです。